

ご存じですか

広報豆知識

秋分の日

9月23日は秋分の日（昭和24年制定）。仏教では20日から彼岸の入りで、秋分の日は彼岸の中日というわけ

正しくいえば中日時正で時正というのは昼夜がひとしく、時が正しいという意味である。仏教では真中の正しい道を歩けと衆生に教えているので、ちょうど中正の時節に仏事を行うというのである。

彼岸にはお墓参りの善男善女にありがたいお説教がある。当日のお説教では焚天、帝釈、鎮臣32人、司命司緑、エンマ大王、八王使者といったアミダの国のお役人が全部勤務について、四方を巡回し、人民の善悪をしらべてエンマ帳に書きこむのでその日には善事をしなければならないと教えている。

暑い、寒いも彼岸までという諺があるごとく、秋分の日が過ぎると秋風がうらさびしく身にしみるようになり、カヤをしまいこむ。曼珠沙華が彼岸花と呼ばれるのはこの頃に咲く花だからである。

厄日を無事にすごした稻が黄いろくみのり、ソバの花が雪のように白く咲くのもこの頃である。

昭和37年用

秋田県民手帳予約募集

秋田県民手帳、昭和37年用の予約申込を受付けております。

特色、内容はつぎのようなもので大変ご好評をいただいている。数量に制限がありますので希望される方はいますぐ市役所統計調査係でお申ください。現品は10月下旬、代金引かえでお渡しいたします。

特色 ○ビニールシート装幀で堅牢
スマート（名刺、定期券入づき）

○携帯便利なポケツト型

○充実した生活便覧篇、名簿篇

○豊富な最新の統計資料

手帳のおもな内容

○秋田県略図○七曜表○略歴○年令早見表○行事予定表○日記○県勢概要○全国から見た秋田県の地位○市町村勢一覧○衆議院員、県議員、県庁部課長、市町村長、同議長名簿○中央官庁一覧○共済組合宿泊一覧○メートル換算表○鉄道運賃早見表○郵便、為替、電報料金○慶弔電報の略号と文例○観光案内○県庁案内○住所録○郷土の概況、交通時刻メモ○県民の歌 頒価 一冊85円

優良納稅者らを表彰

感動呼ぶ子どもたちの作品発表

去る9月17日、一中体育館で昭和35年度納稅表彰式を行い、優良納稅者、団体などに表彰状、感謝状、記念品が贈られました。

またこの日、市内小中学校を通じて募集した「作文」「標語」の入賞作品が、受賞されたよい子たちによって発表され万場の拍手と感動をよびました。

表彰された個人、団体はつぎのとおり

◎被表彰者（個人）市内新地、坂本キヌさん。

坂本さんは、昭和27年法律の施行以前から町内によりかけて納稅貯蓄組合を設立し、十数年の間組合の運営にあたられた功績によるものです。

◎優良納稅貯蓄組合（感謝状贈呈）

別所、浦山、平内、道目木、立花、川口下、二ヶ屋、餌釣、小坪川原、櫃崎、片岡製材所、大館製板

◎金融機関（感謝状）二井田農協。

また「作文」「標語」は沢山の応募がありうれしい悲鳴をあげましたが、どの作品も内容のすぐれているものばかりで審査員の人たちも、子供たちの勉強

ぶりに、すっかり舌をまいたかこうで、ただ感心するばかりでした。慎重審査の結果つぎの方がたが入賞とききましたが、わづかのつがいで入賞できなかつたお友だちに、このつぎはぜひ入賞してくださいといっています。

「作文の部」（入選）○桂城小学校4年4組小笠原律子○積迦内小学校6年上

○村たづ子（佳作）○桂城小学校5年1

組石川可成江○積迦内小学校5年畠山起男○同6年日景勇子○同、伊藤和子○成章中学校2年笛木節子

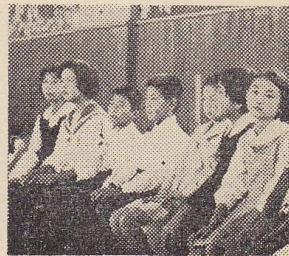
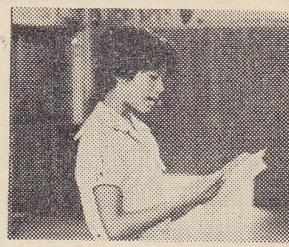
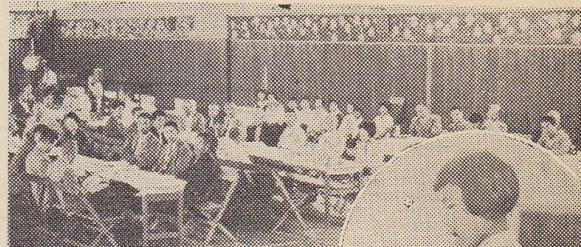
「標語の部」（入選）○城南小学校5年長内誠○同6年福岡悟（佳作）○積迦内小学校6年日景広○城南小学校5年坂本佳寿子○同、入江琴子○同6年五代儀則子

（入選作文）

税金をおさめよう

小笠原 律子

ぜい金はわたくしたちの住んでいる町を、よくするためのお金です。みんなの家から税金をあつめて、道または橋をなおしているのです。学校も、その税金でたてたものです。もし税金をおさめなかつたら、橋もこわれたままで、学校もおんぼろのままであったでしょう。



（写真上=会場、右下=作文を朗読する小笠原さん、左下=同上村さん、その下=入賞されたお友だち、その右=優良納稅者、団体ら表彰風景）

3年生のとき先生が「桂城小学校は市でたてくれた学校なので、みんなで大事にしていかなければならない。」といっていました。桂城の学校は、新しいりっぱな学校です。コンクリートのりっぱな学校です。学校に行くとき、橋をなおしていたのを見ました。いまも大町で道路をなおしています。これはみんな税金でしているのだと思います。

税金で、こまっている人のうちをなおしたり、お父さんのいない人に家をかしてくれたら、どんなによいでしよう。いつかわたしのうちに、市役所の人が手拭をおいていました。「なんの手拭か」と母さんに聞くと、「税金をおさめたから、市役所の人がごほうびにおいていったんだよ」とおしゃってくれました。

わたしのうちで税金を、おさめたときいたので、とってもうれしかった。

母さんと、父さんが「らい年も早く税金をおさめよう」といっていました。

わたしも、心の中で「そうしてくれればよいなあ」と思いました。みんなが早く税金をおさめると、大館の町はりっぱになり、すみよい、たのしい町になることでしょう。入賞作文と標語は次号にも連載します。